

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
4月	1. 学びのとびら (1時間) かけ算 (9時間)	主体的に学びに取り組む態度	・九九の範囲を超える乗法の計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式を用いて考え、表現している。
		知識・技能	・乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。
4月	2. 時こくと時間のもとめ方 (4時間)	主体的に学びに取り組む態度	・時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・時間の単位に着目し、時間を既習の量と統合的に捉えるとともに、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明している。
		知識・技能	・秒について知り、他の時間の単位との関係を理解するとともに、時刻や時間を求めることができる。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
5月	わり算 (9時間)	主体的に学びに取り組む態度	・ 除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や今後の学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・ 数量の関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合して捉えるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。
		知識・技能	・ 除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。
5月 ～ 6月	たし算とひき算の筆算 (10時間)	主体的に学びに取り組む態度	・ 3～4 位数の加減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・ 数の見方に着目し、2～3 位数の場合の筆算の仕方を活用して 3～4 位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。
		知識・技能	・ 3～4 位数の加減計算は、2 位数などの基本的な計算を基にしてできていることを理解し、それらの計算をすることができる。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
6月	考える力をのばそう (1時間)	主体的に学びに取り組む態度	・2つの量の重なる部分に着目する問題を通して、数量の関係を図に表し考えている。
6月	長いものの長さのはかり方と表し方 (7時間)	主体的に学びに取り組む態度	・長さについての単位や測定を用いて身の回りのものの長さを測ったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・身の回りのものの特徴や任意の単位に着目し、測定の方法や単位の関係について説明している。
		知識・技能	・長さの単位（キロメートル(km)）や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当をつけ適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。
6月	暗算 (3時間)	主体的に学びに取り組む態度	・2位数同士の加減法を暗算で計算したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、説明している。
		知識・技能	・被減数が100の減法の暗算や2位数同士の加減法を暗算で計算することができる。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
6月～7月	あまりのあるわり算 (9時間)	主体的に学びに取り組む態度	・日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・数量の関係に着目し、わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合して捉え、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。
		知識・技能	・わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係を捉えることができる。
9月	大きい数のしくみ (10時間)	主体的に学びに取り組む態度	・1億までの数の仕組みや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・整数の仕組みや表し方に着目し、万の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。
		知識・技能	・万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ にした数や数の相対的な大きさを不等号を用いて表す方法を理解している。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
9月～10月	かけ算の筆算(1) (13時間)	主体的に学びに取り組む態度	・2～3位数×1位数の筆算について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え、説明している。
		知識・技能	・2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。
10月	大きい数のわり算、分数とわり算 (6時間)	主体的に学びに取り組む態度	・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を、既習の除法計算などを基に考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。 ・分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・既習の計算の仕方やテープ図などを用いて、数の構成に着目して簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について考え、説明している。 ・等分することや分数の意味に着目して、分数で表された数を除法を用いて計算することを考え、説明している。
		知識・技能	・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について説明している。 ・分数で表されている場面を適切に捉え、除法の計算を用いて答えを求めることができる。
10月	どんな計算になるのかな？ (1時間)	主体的に学びに取り組む態度	・加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばしている。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
1 0 月	円と球 (8時間)	主体的に学びに取り組む態度	・円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方について考えたり、身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかを考えたり、説明している。
		知識・技能	・円の中心や半径、直径について理解し、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さを測り取ったりすることができる。
1 1 月	小数 (14時間)	主体的に学びに取り組む態度	・小数の表し方や意味や加減計算の仕方について、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・数の表現や数のまとまりに着目し、小数は整数の十進位取り記数法を拡張したものと捉え、小数を含む数の大小関係や加減の計算方法について考え、説明している。
		知識・技能	・端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減の計算をすることができる。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
1 1月 ～ 1 2月	重さのたんいとはかり方 (11時間)	主体的に学びに取り組む態度	・身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感や単位の関係を統合的に考え、説明している。
		知識・技能	・重さについて、単位や単位間の関係を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。
1 2月	分数 (10時間)	主体的に学びに取り組む態度	・分数を用いることで、整数では表すことのできない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・分数は単位量をn等分した1こ分を任意の単位としていることに着目して、数の大きさを比べたり、計算したりする方法を考え、説明している。
		知識・技能	・端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加法及び減法の計算や1/10の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。
1 月	□を使った式 (6時間)	主体的に学びに取り組む態度	・未知の数量を□などの記号を用いて表すことで、問題場面を式や図に表せることのよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて読み取ったりして未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。
		知識・技能	・数量の関係を表す式に未知の数量を表す□などの記号を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□に当てはまる数の調べ方を理解したりしている。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
1月	かけ算の筆算(2) (12時間)	主体的に学びに取り組む態度	・2～3位数×2位数の筆算について、既習の筆算の計算方法を基に考えられたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・数の構成や既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算について考え、説明している。
		知識・技能	・2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を活用して、2～3位数×2位数の乗法の筆算を計算することができる。
2月	倍の計算 (3時間)	主体的に学びに取り組む態度	・基準量や倍について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・基準量や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。
		知識・技能	・倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や口を用いた式などを用いながら、答えを求めることができる。
2月	三角形と角 (8時間)	主体的に学びに取り組む態度	・辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、学習を通して身の回りのものの形を図形として捉えたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの作図に関心を持ったり、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
		思考・判断・表現	・図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方を考えるとともに、基本的な図形の性質について考え、説明している。
		知識・技能	・作図などの活動を通して、二等辺三角形や正三角形、角の大きさについて知り、それらを活用して基本的な図形の性質や構成する要素を理解している。

第3学年 算数科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
2月 ～ 3月	ぼうグラフと表 (12時間)	主体的に学びに取り組む態度	・データを分類整理したり，それらをもとに身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・目的に応じたデータを整理する観点に着目し，身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したり，見出したことを分かりやすく表したりすることについて考え，説明している。
		知識・技能	・日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し，それらを活用して表やグラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。
3月	そろばん (2時間)	主体的に学びに取り組む態度	・そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思考・判断・表現	・そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し，数の入れ方や払い方を考え，説明している。
		知識・技能	・そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し，それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。
3月	考える力をのばそう (1時間)	主体的に学びに取り組む態度	・直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して，図を用いて問題内容を整理し，考察する力を伸ばしている。
3月	3年のふくしゅう (5時間)		

第3学年 算数科 評価規準